

<概要>

- 米務省ファクトシートのホンジュラス概要が更新された。そこではホンジュラスは、制度性が脆弱、政府の腐敗、貧困、人権尊重の欠如など様々な課題に直面しており、それらが不法移民や国内避難民の問題を引き起こしていると説明している。
- 国会で与党リブレ党を除く主要政党である、ホンジュラス救済党（PSH）、国民党、自由党の各党議員による「ホンジュラスの民主主義と法治国家強化のための国会戦線」の結成が発表された
- 3 月 14 日午後、カストロ大統領自身のツイッターで「中国との公式な外交関係の開始手続きを行うよう指示した」と発信した。それを受けて、23 日レイナ外相らは中国に向けて出発した。25 日には、ホンジュラス政府は台湾との断交を発表し、同日、ホンジュラス・中国両政府による共同コミュニケが発表された。29 日には当地外務国際協力省は、中国政府の招聘を受けたとしてカストロ大統領による中国訪問の可能性について発表した。

<本文>

1 内政・経済

（1）米務省ファクトシート・ホンジュラス概要の更新（往電第 203 号）

3 月 1 日、米務省ウェブサイトは、ファクトシートのホンジュラス概要を更新した。それによると、ホンジュラスは、制度性が脆弱、風土病ともいえる政府の腐敗、広範囲で根深い貧困、食糧不安、高い犯罪率（暴力）、無処罰、市民社会（の政策に対する参加余地）の減少、人権尊重の欠如、経済的機会均等の欠如、気候変動に関する著しい脆弱性等の困難な課題に直面している。そして、それらが不法移民や国内避難民の問題を引き起こしていると説明している。これらに対して、米政府は「政策、資源、外交」を通じて 5 つの軸（経済的不平等や不安定性との闘い、腐敗（汚職）撲滅・ガバナビリティの強化・法の支配・民主主義、人権の尊重・労働者の権利の尊重・報道の自由、犯罪組織による暴力・恐喝・人身売買・麻薬密輸の根絶、性暴力・ジェンダーへの暴力・家庭内暴力の根絶）を通じて、ホンジュラス政府に対して支援を行っている。

（2）国会における与党リブレ党を除く主要政党の同盟結成（往電第 352 号）

29 日にホンジュラス救済党（PSH）、国民党、自由党の各党議員による「ホンジュラスの民主主義と法治国家強化のための国会戦線（el Frente Parlamentario Multipartidario para el Fortalecimiento de la Democracia y el Estado de Derecho de Honduras）」の結成を発表した。自由党マウリシオ・ビジェーダ議員は「今のホンジュラスには、三権分立は存在しておらず、単一の家族とその政党に権力は集中している。民主主義の尊重に情熱を持って取り組まなければならない」と述べた。

2 外交

(1) ホンジュラス政府による台湾との断交及び中国との外交関係開設の動き

ア カストロ大統領によるホンジュラスの中国への外交関係開設指示（往電第251号）

3月14日午後、カストロ大統領自身のツイッターで「私（カ大統領）は、政府計画の達成のため、また、世界各国と協調し自由に国境を拡大するという私の決意の表れとして、レイナ外相に対し、中国との公式な外交関係の開始手続きを行うよう指示した。」と発信した。

イ レイナ外相による外交関係開設（往電第257号）

3月15日、当地主要テレビ局 TVC の討論番組「フレンテ・ア・フレンテ」に、エドゥアルド・エンリケ・レイナ外務国際協力大臣が出演し、14日午後にかストロ大統領が自身のツイッターで発信した中国との国交開設指示について言及した。

[発言要旨]

- (ア) 政権発足1年を過ぎ国家発展のための必要性を鑑みた際、より条件の良い借款や直接投資を得るための新しい選択肢が必要。
- (イ) 台湾にこれまで以上の協力要請を行ったが、明確な回答を得られていないことから台湾との関係は再構築が必要。
- (ウ) 今回の政治判断に至る前には、米国や日本など各国からの意見も十分聞いている。その上でのカストロ大統領による政治判断。
- (エ) カストロ大統領の指示を受け、昨日（14日）から在コスタリカ中国大使館と交渉を開始。近日中に駐コスタリカ中国大使と会合を持つ予定。
- (オ) ホンジュラスは他国と同様、中国と外交関係を持ちながら、台湾とも良好な関係を続けたいと考えている。中国と外交関係を持ちながら、台湾に貿易事務所を開設している国は多い。台湾と中国両国と良好な関係を持つことは成り立つ。

(2) ホンジュラスから中国への要人往訪

ア レイナ外相らの中国訪問（往電第311号）

23日レイナ外相は、オルテンシア・セラヤ・リブレ党議員（カストロ大統領の実子）、カルロス・セラヤ・リブレ党議員（国会副議長、カストロ政権の義弟）を伴い、中国に向けて出発した。同情報については、パストール官房長官も国営ラジオ局番組内でそれを認め、中国では外相と会談すると述べた。同時にカストロ大統領も日程は未定ながらも中国を訪問する予定があることを認めた。

イ 3月25日付「ホンジュラス共和国と中華人民共和国の国交開設に関する共同コミュニケ（仮訳）」（往電第328号）

中華人民共和国及びホンジュラス共和国は、両国の利益及び意思に基づき、本コミュニケ署名日をもって、大使級の外交関係を相互承認し、開設することを決定した。

両国政府は、主権と領土保全の相互尊重、相互不可侵、一方が他方の内政に介入しないこと、平等互恵及び平和共存の下、両国の友好関係を発展させることで合意した。

ホンジュラス政府は、世界に中国は一つしかなく、中華人民共和国が中国を代表する唯一の合法的政府であり、台湾は中国領土の一部であると認める。また、ホンジュラス政府は即日から台湾との「外交関係」を断交し、今後、台湾との間で公式な関係を一切持たないことを確約する。中国政府は、ホンジュラス政府の立場表明に称賛の意を表す。

（３）台湾との断交発表（往電第３２６号）

24日、レイナ外相はカストロ大統領の指示の下、台湾に対し両国の外交関係断絶の決定を通知した。これに伴い、「ホンジュラス共和国政府は、世界における一つの中国の存在及び中華人民共和国政府が全ての中国を代表する唯一の正当な政府であることを認める」と述べるとともに、国（ホンジュラス）は、台湾は侵すことのできない中国の領土の一部をなすと考え、その結果、本日より、ホンジュラスは「台湾とのいかなる公式な関係や接触を行わないこと」を約束した。これに対してウー台湾外相は、ホンジュラスが台湾との外交関係を打ち切り、中国との関係を開始したことを「非常に遺憾に思う。中国の権威主義政府の圧力と強制に屈することはない。主権と尊厳を守るため、台湾はホンジュラスとの外交関係を即座に終了することを決定した。これは全ての二国間援助と財政支援プログラムの終了を意味し、外交官と援助要員の撤退を含む」と述べた。同大臣はまた、ホンジュラス政府が台湾との数十年に及ぶ友情関係を軽視したことについて遺憾の意を表した。

（４）カストロ大統領の中国公式訪問発表（往電第３５１号）

3月29日、当国外務国際協力省は、公式ツイッターで「両国間の国交開設に伴う各種合意署名を目的として、近く中国を公式訪問する予定である」と発信した。

（５）米国の動き（クリストファー・ドッド米大統領特別顧問来訪）

3月20日夜、ホンジュラス大統領府はツイッターにて、20日午後に行われたクリストファー・ドッド米大統領特別顧問（米州問題）によるカストロ大統領表敬に関し、会談後に行われたレイナ外相による会見を発信した。

ア 本日（20日）、カストロ大統領は、ドッド米大統領特別顧問やドグ米国大使らと会談した。会談では、移民、機会の創出、貿易、投資、安全保障、犯罪組織との闘い等、二国間共通の課題について、今後も良好な関係が続くよう、意見交換が行われた。

イ 中国との国交開設については、カストロ大統領は、この決定について一般的なコメント（hizo comentarios generales）をし、これに対し、米国側は主権国家の決定であるとして、（ホンジュラスの今回の決定を）尊重する（como una decision soberana y la respetan）と述べた。

（６）その他（第28回イペロアメリカ・サミットへのカストロ大統領の参加）（往電第３５３号）

第 28 回イベロアメリカ・サミットに出席したカストロ大統領は演説の中で、ベネズエラやニカラグアに対する経済制裁を止めるよう要請するとともに、中南米各国の団結を呼びかけた。

2 開発協力

(1) 我が国による支援

ア 7日、首都テグシガルパ市において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「テグシガルパ市サンタ・マリア小学校整備計画」の引渡式が行われた。本件では、84,753 米ドルの支援により、サンタ・マリア小学校において校舎増改築及び学校備品の整備が行われ、同校に通う児童・生徒約 500 名の教育環境が改善された。

イ 10日、首都テグシガルパ市において、令和4年度無償資金協力「感染性廃棄物管理計画」及び「保健サーベイランス国立研究所建設計画（追加贈与）」に関する交換公文（E/N）の署名・交換が行われた。本2案件（約 2,000 万米ドル）の署名により、国内 11 カ所の医療施設及び3自治体連合において感染性廃棄物の無害化、収集運搬及び最終処分に必要な機材整備が行われる。また、当国の国立研究所に対し、施設建設及び機材調達が実施され、ホンジュラスの保健医療システム強化が支援されることとなる。

ウ 21日、チョルテカ県において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ナマシグエ市2教育施設増改築計画」及び「サンアントニオデフローレス市7月14日基礎教育学校改修計画」の引渡式が行われた。これら2案件では、総額 189,791 米ドルの支援により、ナマシグエ市及びサンアントニオデフローレス市の3教育施設において、校舎増改築及び学校備品が整備され、対象3校の教育環境が改善された。

エ 29日、フランシスコモラサン県カンタラナス市において草の根・人間の安全保障無償資金協力「カンタラナス市フランシスコモラサン夜間技術学校増築計画」の引渡式が行われた。本件では、85,093 米ドルの支援により、フランシスコモラサン夜間技術学校において3教室が増築され、同校に通う生徒 300 名の教育環境が改善された。

(2) 米国による支援

9日、ピネダ・ホンジュラス社会投資基金（FHIS）大臣は、USAID の 4,000 万レンピラの支援を通じ、レンピラ県を流れるサラド川、サポテ川及びタルグア川において3つの橋梁整備が行われる旨発表した。

(3) 米州開発銀行（IDB）による支援

22 日、モンカダ財務大臣及びゴールドファイン IDB 総裁は、当国政府が促進する貧困対策事業の実施に向け、7,590 万米ドルの融資契約を締結した。本融資を通じ、国内で極度の貧困状態に置かれている約 5 万家庭に対して、生計向上、保健・栄養サービスの向上、教育改善等の観点から、人材育成、自立促進等に向けた事業が実施される。

(4) 韓国及び中米経済統合銀行（CABEI）による支援

28 日、モンカダ財務大臣は、CABEI と韓国水資源公社（K Water）が、当国北部のサンペドロスーラ都市圏の洪水対策等を目的とし、2024 年にサンタ・バルバラ県ナコ市において建設の開始が予定されているエル・タブロン・ダム及び当国南部に建設が予定されているモロリカ・ダムのフィージビリティ調査の実施に協力する旨発表した。

3 医療保健関係

(1) 3 月の新型コロナウイルス感染状況（3 月 31 日現在）

ア 平均新規感染者数：8.2 人/日（前月比－40.8 人/日）

イ 累計感染者数：472,467 人（前月比＋255 人）

ウ 平均新規死亡者数：0 人/日（前月比±0 人/日）

エ 累計死亡者数：11,111 人（前月比±0 人）

1 日新規感染者の平均は、客年 12 月が 260 人強とピーク時だったところ、1 月から 100 人強と減少に転じ、2 月は 50 人弱となり、今月は 10 人を下回った。8 日は、パンデミックが始まって初となる、新規感染者 0 人を記録した。（ただし、当国では、感染者数は、基本的には公的医療機関からの数字のみを計上しており、私立の医療機関における感染者数は計上されていない。）また、2020 年 5 月 23 日付官報によりマスクの着用が義務づけられてきたところ、右感染状況を受けて、2023 年 3 月 22 日付官報により、医療機関や換気不良の閉鎖空間などをのぞいて、マスクの着用が任意となった。出入国時の陰性証明書やワクチン接種証明書の提示も不要となった。

(2) ワクチン接種、受領状況

ア ワクチン接種状況（3 月 3 日現在）：接種対象者比で、一回以上接種者が 75%（生後 6 か月以上）、二回以上接種者が 67%（生後 6 か月以上）、三回以上接種者が 40%（生後 6 か月以上）、四回接種者が 13%（12 歳以上）となっており、著変はない。

イ ワクチン受領状況：米国 COVAX により、15 日にファイザー社製小児用二価型新型コロナウイルスワクチン 270,300 回分、22 日にファイザー社製成人用二価型新型コロナウイルスワクチン 299,520 回分を受領した。

(3) その他

ア 緊急避妊薬の全面解禁

当国では、1982 年以来中絶が憲法により禁止されており、2009 年 10 月 24 日付官報により緊急避妊薬の使用も禁止されていた。今般、2023 年 1 月 20 日付官報において性暴力の被害者に限り緊急

避妊薬（レボノルゲストレル）の使用が可能になった事に続き、3月8日の国際女性デーを記念し、同日付官報により、同薬が全面的に解禁となり、自由な販売、購入、使用が可能となった。

イ サル痘感染状況

客年8月12日に第一例が確認されて以来、3月31日現在、累計38例が確認されている。客年は14例だったところ、本年はすでに24例が確認されており、感染のペースが上がっている。37例は男性、1例が女性。死亡例は0例。1例以外は、国内発症。なお、コンドーム着用例も含めて、全員が性行為により感染している。また、13%に相当する5人がHIVを併発している。

ウ 当地 PAH0 事務所のウエルタ代表が離任し、後任として PAH0 ニカラグア事務所代表のアナ・ソリス・オルテガが着任した。。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2023 年			2022 年
	3 月	2 月	1 月	
インフレ率（前年同月比）	—	9.80	8.93	9.80%
貿易収支（百万ドル）	—	—	—	▲4,824(2021 年)
輸出（百万ドル）	—	—	—	10,215.9(2021 年)
輸入（百万ドル）	—	—	—	15,039.9(2021 年)
外貨準備高（百万ドル）	—	8280.7	8340.0	8421.3
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—	7,184.4(2021 年)
為替レート（対ドル月平均）	—	24.68	24.71	24.64

（出典：ホンジュラス中央銀行） ※貿易収支、輸出入、外国送金は、四半期毎に発表

（了）